**学校施設長期保全計画検証支援業務に関する**

**プロポーザル実施要領**

１　件　　名　　学校施設長期保全計画検証支援業務委託

２　事業目的　　川崎市は多くの市立学校を有しており、老朽化が進行していることに加え、多様な指導方法による高機能かつ多機能な施設環境の整備、防犯対策、バリアフリー化、快適化、環境負荷の低減などが課題となっていたことから、既存学校施設の実態把握・評価を行い、施設の長寿命化やライフサイクルコスト縮減を目指した整備計画を作成し、平成26年3月に財政支出の平準化を図った「学校施設長期保全計画」を策定した。

しかしながら、計画策定からこの間の社会情勢の変化等により、工事費の大幅な増加がみられ、安定した財政運営を行うため、1校当たりの事業単価を見直すとともに工事内容を精査し、将来費用を再算定することが求められている。また、計画で第二期取組期間以降に行う事になる設備の改修について、工事手法を確定させる必要があり、特に機械設備、電気設備等の設備に精通した技術者の支援が不可欠となっている。

以上のことから、委託業者の選定方法は、公共建築物等の保全計画策定や施設調査業務等の実績のある業者からの、技術提案書に基づく公募型プロポーザル方式によって、創造力や技術力に優れた業者を選定することとする。

３　履行期限　　契約締結の日から平成３２年３月２４日まで

４　履行場所 教育委員会事務局教育環境整備推進室（川崎区宮本町６番地）

市立学校のすべて（１７５校）

　　　　　　　　　　小学校　　　　１１４校

　　　　　　　　　　中学校　　　　　５２校

　　　　　　　　　　高等学校　　　　　５校

　　　　　　　　　　特別支援学校　　　４校（田島支援学校桜校含む）

５　業務内容　　**（１）学校施設長期保全計画に基づく工事内容の分析**

 　　ア　実施済工事から標準仕様の抽出・作成

 　　イ　標準とすべき仕様の設定とモデル仕様の作成

 　　ウ　工事単価の検証

 　　エ　現行スキームによる必要計画事業費の算出

**（２）設備再生の判断基準と工事内容の検討**

ア　図面調査

イ　実地調査（年代別で６校程度を想定）

　　　　　　　　　　ウ　判断基準の検討と指針作成

　　　　　　　　　　エ　新学習指導要領に対応した設備検討

　　　　　　　　　　オ　必要工事内容のまとめ

**（３）ＬＣＣ算定**

　　　　　　　　　　ア　財政シミュレート別ＬＣＣの算定

　　　　　　　　　　イ　改築手法と長寿命化手法の比較検証

　　　　　　　　　　ウ　工事メニュー増減による変動を捉えられるツール作成

**（４）学校施設長期保全計画将来方針案の作成**

**（５）他都市の事例収集**

**（６）その他**

ア　打合せ協議及び必要に応じて関係者会議の開催・運営支援

　　イ　学校、他都市等関係先への出張・出席

６　プロポーザル　　本プロポーザルでは提案書による選定を行い、組織の実施体制のほか

評価項目　　　提案の的確性や実現性等について評価を行う。

**（１）本業務における様々なニーズに対応できる実施体制と実施方針**

ア 配置予定技術者の業務実績

イ 本業務の実施体制と実施方針

1. **検証手法について**

　　　　　　　　　ア　現行工事の検証手法の妥当性

イ　工事内容の調整と調整に伴う工事費の変動が確認可能なデータ作成手法

ウ　実地調査の方法と設備再生の工事内容を決定するための調査内容の妥当性

エ　LCC算定に必要となる要素の理解

オ　計画改定に繋がる提案であるか

７　業務規模　　　　本業務の業務規模は、約2,500万円（消費税及び地方消費税を含む）上限を予定

８　事業実施予定　　平成３２年度：当委託業務成果を活用した事業検証

教育環境整備推進会議を活用した政策方針の調整

実態把握・評価の結果に基づく整備計画の作成

整備計画に基づく予算調整

　　　　平成３３年度：教育環境整備推進会議を活用した政策方針の決定

　　　　平成３４年度：整備計画に基づく事業推進